

<平成 23 年度地域教育ネットワーク会議議事要旨(小林・えびの・高原地区)>

- 1 日 時：平成 23 年 8 月 22 日（月） 15:00～17:00
- 2 会 場：小林市中央公民館 会議室
- 3 参加者：各種関係団体等代表 16 名 事務局 4 名
- 4 内 容

(1) 開会行事

- ① あいさつ
- ② 日程説明

(2) 事業説明

- ① 平成 23 年度生涯学習関連主要施策について

(3) 協 議

- ① 自己紹介と日頃の活動について
- ② 子どもの 1 日の生活を支援するために、関係団体・企業等の相互連携はどうあればよいか。

(4) 閉会行事

5 協議のまとめ

参加者一人一人から、日頃行っている子どもの教育支援活動について、簡単に話していただき、他の団体の活動状況を知っていただきました。その後に、活動上の問題点や課題、取組の成果や今後の教育支援在り方についての協議を行い、以下のような御意見が出されました。

(1) 活動上の問題点や課題等について

- ・ 子供会の減少
- ・ 地域の子どものつながりの希薄化
- ・ 地域行事が減少
- ・ 公民館活動の減少

(2) 今後の取組等について

- ・ NPO 法人で安全な居場所作りができる
サロン→年齢を問わない
- ・ 安全を呼びかけるチラシの作成・啓発が必要である
- ・ 防犯メールを活用する
- ・ 情報の共有を強化する
- ・ 挨拶をして顔見知りになる
- ・ 子どもと地域のつながりを深める
- ・ 地域の行事の重要性を再認識する必要がある
(郷土芸能の継承と学校行事との結びつき)
- ・ 地域行事の中で地域の子どもを知ることができる
- ・ 学校、地域行事との日程調整が必要である
- ・ 団体同士がつながって調整を図る必要がある
- ・ 麦踏み等の活動を通して人とのつながりを深めることが可能となる (企業のつながり)
- ・ 山登り等の授業を通して、命の授業を行うことができる

